

〔ピラミッドからの話題〕

## 二年間を振り返って（若手社員の声）

山 田 広 大

（株式会社シムコ 大館 GGP センター 生産部）

All about SWINE 65, 19

私は獣医師として新卒でシムコに入社し、大館 GGP センターに配属されて今年で3年目を迎えました。学生時代に養豚獣医師の実習に参加したことがきっかけで、豚の行動や生態、養豚の面白さに魅了され、この業界を志しました。今までお会いした先生方は皆「現場が分からないと獣医師としての仕事はできない」と、現場経験の重要性を強調していました。現在、現場業務と獣医師業務の両方に取り組み、日々成長を実感しています。この二年間を振り返り、感じたことや学んだことをお伝えします。

最初の1年目では、半年の研修を経て、種豚舎・雄舎の基本的な運営方法を学びました。交配のスケジュール管理や豚の健康状態のモニタリングに努め、より良い繁殖成績を得るために努力しました。また、運営方法だけでなく、農場における基本的な作業も学びました。飼料の準備や給餌、清掃、豚舎の修理など、日々の基本業務を通じて農場全体の運営に微力ではありますが、尽力しました。

2年目に入ると、種豚舎・雄舎のメイン担当者となり、担当者間の作業レベルを合わせることで作業精度や効率の改善に直結することを実感しました。そこで作業の目的や関連を共有することを心掛け、自身の理解を深めることにも繋がってい

ます。また、育種の重要性を深く理解するようになりました。優れた遺伝特性を最大限に引き出すために、データの収集と分析を行い、育種の精度を向上させています。これにより、農場全体の生産性を改善し、より良い種豚を生産・供給することを目指しています。

獣医師としての役割も大きな挑戦です。豚の健康管理や予防接種、病気の早期発見と治療など、衛生管理の重要性を常に意識して業務に取り組みました。特に豚舎の衛生環境を維持することは生産性に直結するため、日々の管理を徹底しています。豚舎の清掃や消毒、病気の予防策を講じることで、健康な豚を育てる環境を整えることに注力しています。

この2年間で得た経験と知識は、私にとって非常に価値のあるものでした。日々の業務を通じて自分の成長を実感するとともに、現場経験の重要性を改めて認識しました。特に、農場でのコミュニケーションや協力体制を築くことで、より効率的に業務を進めることができました。現場での実践的な経験が、獣医師としてのスキル向上に直結していることを実感しています。これからもさらなる成長と改善を目指し、現場での経験を重ねながら業務に取り組んでいきたいと考えています。